

藤島<sup>ふじま</sup>の<sup>しん</sup> 小説家。明治四十二年生れ（一九〇一）。昭和九年、雑誌『人文學評論』九月號に處女作「いのち」を發表して認められた。爾來「赤むひ」、「汚辱の中」、「小作二段」等の農民小説を執筆。のち『文學界』の編輯同人島本健作の誘致により、長編『いとほみ』（昭和十六年二月、千代田萬里閣）を書下し出版した。

